

令和8年

第1回

薩摩川内市教育委員会  
(定例会)

会議録

令和8年1月26日

令和8年第1回 薩摩川内市教育委員会定例会

- 1 期 日 令和8年1月26日(月)
- 2 場 所 教育委員会室
- 3 出席委員 教 育 長 藤田 芳昭 教育長職務代理者 軍神利喜男  
委 員 枇杷 眞弓 委 員 土器手正之  
委 員 常盤 美幸
- 4 説明のために出席した職・氏名  
教 育 部 長 花木 隆 教育総務課長 坂上 克久  
学校教育課長 長野 和己 学校教育指導担当課長 垣内秀一郎  
社会教育課長 有村 慎吾 少年自然の家所長 南 健  
中央図書館長 寺田 和一 甌島教育課長 有馬 文男
- 5 記 録 者 教育総務課課長代理 南 和博
- 6 傍 聴 者 なし
- 7 日 程
  - (1) 会議録承認
  - (2) 審議  
議案第1号 薩摩川内市立幼稚園条例等の一部を改正する条例の制定に係る議案  
に関する意見の申出について  
議案第2号 薩摩川内市伝統的建造物群保存地区保存条例の一部を改正する条例  
の制定に係る議案に関する意見の申出について
  - (3) 協議事項  
令和7年度の学校訪問及び行事等に参加して～令和8年度への改善点・提言～
  - (4) 諸般報告
  - (5) その他  
ア 令和8年2月行事予定について  
イ その他

開会時間 13時30分

**【開会】**

教 育 長     ただ今から、令和8年第1回薩摩川内市教育委員会定例会を開会します。

**【会議録の承認及び会議録署名者の指名】**

教 育 長     令和7年第13回定例会の会議録についてお諮りします。会議録を承認してよろしいですか。

（異議なしの声あり）

教 育 長     令和7年第13回会議録は承認されました。  
会議録署名委員につきましては、土器手委員を指名します。

教 育 長     傍聴の申出はありますか。

教育総務課長代理     申出はございません。

教 育 長     本日の傍聴の申出はございません。

**【審 議】**

教 育 長     それでは審議に入ります。

**【議案第1号 薩摩川内市立幼稚園条例等の一部を改正する条例の制定に係る議案に関する意見の申出について】**

教 育 長     議案第1号 薩摩川内市立幼稚園条例等の一部を改正する条例の制定に係る議案に関する意見の申出について 教育総務課長 説明をお願いします。

教育総務課長     （議案書で説明）

教 育 長     質問はありませんか。

（なしの声あり）

教 育 長     議案第1号を承認してよろしいですか。

（異議なしの声あり）

教 育 長     異議はないと認めます。よって、本案は可決されました。

**【議案第2号 薩摩川内市伝統的建造物群保存地区保存条例の一部を改正する条例の制定に係る議案に関する意見の申出について】**

教 育 長 議案第2号 薩摩川内市伝統的建造物群保存地区保存条例の一部を改正する条例の制定に係る議案に関する意見の申出について 社会教育課長 説明をお願いします。

社会教育課長 (議案書で説明)

教 育 長 具体的に、伝統的建造物群保存地区において、このような場合には、どういった対応になるとか、分かりやすく説明してください。

社会教育課長 (説明)

教 育 長 これまで工事の対象業者がNTTなどに限られていましたが、法律が改正され、新たな事業者も工事に携わることが可能になりました。そのため、市としても、特定業者しか工事できないという従来条例内容を改め、法改正に合わせて、より多くの事業者が工事を実施できるよう条例を見直す必要があるということです。質問はありませんか。

(なしの声あり)

教 育 長 議案第2号を承認してよろしいですか。

(異議なしの声あり)

教 育 長 異議はないと認めます。よって、本案は可決されました。

### 【協議事項】

#### 【令和7年度の学校訪問及び行事等に参加して～令和8年度への改善点・提言～】

教 育 長 今回の協議内容は、「令和7年度の学校訪問及び行事等に参加して～令和8年度への改善点・提言～」です。委員の皆様には、今年度11校の学校訪問をしていただいたほか、各種行事やイベントにも多数ご参加いただきました。これらの学校訪問や行事等を通じて思われた反省点や振り返りを踏まえ、令和8年度へ改善を図ろうとするものです。それでは、本日の協議事項につきまして、学校訪問及び各種行事やイベントに参加されてのご感想、ご意見、併せて来年度の取組に向けた改善点等について、ご意見をいただければと思います。

教 育 長 参考資料としまして、A4両面の資料を配付しております。ここで、しばらくご確認いただく時間を取りたいと思います。また、各所管課において、資料に関して追加で説明する事項がありましたら、後ほど

補足説明をお願いします。併せて、昨年度の会議録も参考資料として添付しておりますので、ご覧いただければと思います。

土器手委員 諸般報告の際に伺おうと思っていた事項がありまして、学校の現場に関連する内容ですので、少しよろしいでしょうか。気になっているのは、現在の薩摩川内市のいじめやネット上のトラブルの状況についてです。学校でいじめや嫌な思いをして登校できなくなった児童・生徒が、現在どのような状況にあるのか、解決に向かっているのか、それとも登校できない状態が続いている子供がいるのか、その現状を知りたいと思います。不登校児童・生徒の人数についても伺いたいです。次に、スマイルルームについてですが、新たに開設され、新しい環境になったことによる、子供たちの前向きさや表情の変化など、どのような様子なのかを知りたいと思います。

また、学力調査についてですが、同じ学校の中でも、良い学年、課題のある学年があると思います。薩摩川内市全体として、現状の取組でよいのか、それとも市全体として何らかのてこ入れが必要なのか、今後どのように進めていこうと考えているのか、その方向性について伺いたいです。

教 育 長 諸般報告の中にもございますが、今月27日、第2回いじめ問題対策連絡協議会を予定しています。今のご質問は学校教育課への内容で、大きく4点あると整理できます。いじめの件数及びいじめが原因となった不登校事案について、不登校児童・生徒の現状について、新たに開設されたスマイルルームの現状、利用状況等について、学力調査結果と今後の対応についてです。以上4点につきまして、後ほどまとめて回答します。

教 育 長 それでは、委員の皆様からご意見等をいただきたいと思います。その前に、昨年1月の定例会でのご意見等も踏まえまして、所管課から追加の説明をお願いします。まずは少年自然の家から、夏・冬のアドベンチャー事業について委員の皆様からご提言いただいた内容が、現状では、どの程度実施されているのかという点も含めて、説明をお願いします。

少年自然の家所長

(説明)

軍神委員

私は、このアドベンチャー事業については、子供たちが体験を通して得る感動や達成感、充実感といったものが非常に大きいと感じています。ぜひ、不登校やいじめの子供たちにも声かけをしていただきたいと思います。参加するかどうかは本人次第ですが、まずは声をかけていただくことが大切ではないかと考えます。また、参加者の選考は、なかなか難しい面があると思います。例えば、昨年参加した経験者がいれば、その子をリーダー的な役割にすることで、活動が円滑に進む面もあると思います。参加人数を増やすことは容易ではないかもしれませんが、何よりも安全が最優先です。できるだけ多くの子供たちがこの事業を体験し、経験できるような形で進めていただきたいと思います。

教 育 長

募集人数に対して応募者が多かった場合、今年度は、どのような選考方法を取ったのでしょうか。

少年自然の家所長

今回は、新規参加者を優先する形で選考を行いました。冬のアドベンチャー事業につきましては、これまで紙媒体による募集を行っていましたが、今回はデジタルを活用した募集方法に変更しました。定員30人に対して応募者も30人でした。そのため、今回は抽選を行っておりません。選考の基本的な考え方としては、新規参加者を優先する形で対応しています。

常 盤 委 員

今年度は、結団式、解団式も都合が合わず参加できなかったことを大変残念に思っています。子供たちの声を直接聞くことができなかった点は残念でしたが、とても素晴らしい報告書を拝見させていただきました。そこには、仲間同士で励まし合いながら活動をやり遂げたことへの自信や達成感などが、言葉としてしっかり表れています。不登校児童・生徒への支援という観点でも学校やスマイルルームとも連携が図られていると思います。この事業は活動期間も長く、取組の内容も意義深いものでありますが、参加者は限られているので、参加した子供たちの体験や声が、学校の間でも発表するような機会があると良いのではないかと感じました。日中交流や日韓交流の事業では、参加し

た子供たちが体験を発表する機会がありますが、この事業も学校で体験発表ができれば、何かに取り組もうとしている他の児童・生徒にも波及していくのではないかと感じました。

教 育 長 参加者の学校の校長に対し、こうした体験を語る場を設けるような依頼は行っていますか。

少年自然の家所長 管理職研修会の際に、ぜひこの体験を学級や全校の前で発表する機会を設けていただけないかと依頼をしました。ただ、その後、各学校においてどのような形で実現しているかについては、把握しておりませんが、今後も、引き続き学校との連携を図っていきたいと考えております。

教 育 長 今後とも、繰り返しお願いをしていきたいと思えます。

土器手委員 この事業は、大変素晴らしい取組であると感じていますし、この処理状況についても、前向きに取り組まれていると思っています。ただ、先日の結団式において参加しなかった子供がいたことについては、少し気になりました。募集の段階で、しっかりと投げかけを行っていただきたいと思えます。最初の一体感が十分に醸成されないのではないかと感じました。今後の実施に向けて、この点についても、ぜひご検討をお願いしたいと思えます。

教 育 長 健康上の理由は別としましても、個人的な理由を優先することが、果たして妥当な判断なのかということです。結団式への参加を一定の条件とすることについては、今後検討する余地があるのではないかと思います。

枇杷委員 私も、アドベンチャー事業は本当に素晴らしい取組であると思っています。子供たちにとって、成功体験、あるいは何かをやり遂げたという実感は、非常に大切な宝物になるのではないかと思います。一方で、支えておられる職員が大変なのではないかと、常に心配をしています。今後も引き続き、十分な安全管理のもと、事業を継続していただければと思います。

教 育 長 現在、日韓交流や日中交流、また社会教育課所管の北海道ニセコ町との交流事業においては、学校職員にも協力を呼びかけ、加わってもら

っているところですが、もし少年自然の家での事業に関しても人員が不足するような場合には、こうした仕組みを検討してはどうかと思います。

少年自然の家所長 スタッフにつきましては、数年前に比べると職員の年齢も上がってきており、体力面での不安が出てきているのが現状です。そこが現在の大きな課題の一つとなっています。そのため、学校や本庁各課への協力要請なども含め、今後の運営体制について検討していく必要があると考えております。

教 育 長 それでは、夏・冬アドベンチャー事業につきましては、以上で終了したいと思います。

教 育 長 続きまして、学校教育課所管の運動会、体育祭等の開催方法について、学校教育課から補足説明がございましたら、お願いします。

学校教育課長 (説明)

土器手委員 運動会においては、ミストを設置するなど、手作り感のある工夫が見られ、とても良い取組だと感じました。また、適宜、休憩や水分補給を行うなど、以前にはあまり見られなかった対応がなされており、そういった点も非常に良かったと思います。また、市民運動会がなくなり、かつてはその予選を兼ねていた地域もありましたが、そうしたことがなくなったことで、運動会自体の時間が短縮され、結果として熱中症対策の面では良かったのではないかと感じています。

一方で、市民運動会がなくなったことにより、地域の活気がやや失われたように感じることもあります。まさに、こちらを取ればあちらが立たず、という状況だと思います。熱中症対策については、各学校が工夫しながら適切に対応されていると感じています。その日の天候によって、非常に暑い日もあれば、同じ時期でも比較的過ごしやすい日もありますので、一律に判断することは難しい面もありますが、いずれにしても各学校が注意を払いながら取り組んでいると思います。

一方で、保護者席については課題も感じています。保護者席がなく、立って観覧する状況の中で、傘が視界を遮ったり、混雑して危険を感じたりする場面も見受けられました。周囲に木陰が少ない会場もあり、



限られた日陰に保護者が集まっている状況を見ると、体調面での不安を感じることもあります。生徒については、学校側が可能な限り配慮し、対応していただいていると受け止めています。

教 育 長 春に開催した学校等は何校ありましたか。また、今年度は、小学校と中学校の開催日を統一日として設定しつつ、一昨年度から調整を行い、日程をずらした部分もあったかと思いますが、その点はいかがでしょう。併せて、統一日を設定したものの、全ての学校がその日に実施しているのかについてもお聞かせください。

学校教育課長 まず、1学期に開催した学校等は、東郷幼稚園等を含め、合計6校園です。次に、基準日についてですが、中学校については、9月14日を基準日として設定しましたが、この日に実施したのは、川内北中、川内中央中、川内南中、祁答院中です。一方で、樋脇中など、9月28日に日程を変更して実施した学校もあります。小学校につきましては、10月中旬に可愛小等が開催したほか、10月末には副田小や入来小が実施するなど、小・中学校ともに、基準日から日程を調整して開催している学校があるというのが現状です。

教 育 長 小学校の基準日はいつでしたか。

学校教育課長 10月19日でした。

土器手委員 これまで小学校の運動会は10月の第1日曜日に実施されることが多かったと思います。現在は日程を少しずらして実施している学校もあり、例えば副田小では10月26日に開催されましたが、このように開催日を少し調整することは、気候面から見ても効果的だったのではないかと感じています。

常 盤 委 員 私は、自分たちの体育祭の頃や、新型コロナウイルス感染症流行以前の状況を思い返しながらお話ししますと、運動会や体育祭を統一日で実施することについて、どのような利点や意味があったのかと思いました。また、先ほどもご意見がありましたが、統一日をもう少し後ろにずらすことについては、文化祭など他の学校行事との関係で難しい面もあるのではないかと感じていたところです。一方で、1日開催の学校が1校はあったかと思いますが、1日開催が、コロナ禍以降なく

なったことで、家族や地域とのつながりが薄れてしまうのではないかという懸念も感じましたが、現在の社会全体の状況を考えますと、運動会だけが家族や地域とのつながりを担う役割を負う必要はないのではないかとも思います。実際に半日開催の運動会を見学させていただきましたが、その形でも十分ではないかと感じましたし、各学校が限られた条件や制約の中で、工夫を重ねながら実施されていることがよく伝わってきました。

教 育 長 統一日を設定するメリットを示してください。また、1日開催の学校は何校ありましたか。

学校教育課長 統一日を設定することにつきましては、これまでも教育課程全体を見ながら、この時期にということの設定されています。実際、来賓が学校を訪問される際には、統一日を設けていることで、複数の学校を訪問しやすいといったメリットもあると考えております。また、1日開催としている学校は、例えば川内南中など、午後2時頃まで実施しているケースはありますが、かつてのように完全な1日開催の学校は、ありませんでした。

常 盤 委 員 統一日を現在よりも遅い時期に設定することについては、学校の行事上、難しい面があるのでしょうか。

教 育 長 検討材料になるという認識でよろしいでしょうか。

学校教育課長 検討材料となります。

教 育 長 それらの点も加味した上で、来年度の統一日について検討してまいります。

枇 杷 委 員 運動会を拝見して、特に、障がいのある子供たちも、とても楽しそうに運動会に参加している様子が印象的で、教員が丁寧に指導されているのだろうと感じました。

一方で、少し気になった点があります。大規模校において、ある学校では、保護者の観覧時間を少しずつずらして来場していただくよう徹底されていたようで、保護者席が比較的落ち着いた雰囲気でしたが、別の学校では、そのような制限がなく、保護者が非常に多く集まっている状況も見受けられました。こうした点については、ある程度想定

できることでもありますので、学校間で情報共有を行い、「このような方法でうまくいった」という事例を共有していただけると、保護者も、より安全で見やすい環境で運動会を観覧できるのではないかと感じました。

教 育 長 ただいまのご意見につきましては、一つのご提案として受け止め、今後、各学校へ情報提供していきたいと思えます。

軍 神 委 員 基準日を設けることにつきましては、以前、議会でも議論になったことがあります。過去には、県民体育大会と学校行事の日程が重なったことがあります。県が推進する行事と学校行事が重なることについて、議論がなされた経緯がありました。その後、そうした重なりを避ける方向で整理されてきたと認識しております。

一方で、基準日が設定されていることにより、市だけでなく、スポーツ協会などにおいても、あらかじめ予定が立てやすくなるという利点があります。特に、校区対抗の行事が多い場合、日程が重なることも多く、基準日があることで行事全体の調整がしやすくなる面があります。これは、文化的な行事においても同様ではないかと考えています。次に、半日開催についてですが、当初は、半日という短い時間の中で、子供たちがエネルギーを発散できるのか、また、内容が簡素化し過ぎてしまわないかという点を心配していました。しかし、実際に拝見すると、子供たちも教職員も一体となって取り組み、半日でも十分に充実した運動会が実施されていると感じました。また、午後の時間帯を片付け等に充てることができ、全体として余裕を持った運営が可能になっている点も良いと感じました。例えば、川内北中では、これまで保護者席の場所取りが行われ、場内外に多くの人が集まり、相当の規模になることもありました。そうした混雑が、半日開催により大きく緩和されたと感じています。その結果、長時間にわたる活動が減り、子供たちの熱中症リスクも軽減されているのではないかと思います。実際、以前ほど熱中症に関する話を聞かなくなった印象もあります。このように、子供と教職員が一体となってエネルギーを発散し、最後は達成感や喜びの中で終わるという点では、半日開催はちょうど良い

形ではないかと感じています。現時点では、1日開催を強く希望する学校は少ないのではないかと考えており、現在の開催形態が適切ではないかと思っています。

なお、屋内開催については、川内商工高校がアリーナで実施していました。幼稚園や保育園では、体育館やアリーナでの開催も一定の価値があると思いますが、中学生や高校生にとっては、エネルギーを十分に発散するという点では、やや物足りなさを感じる面もあるかもしれません。ただし、空調設備を活用することで、熱中症対策という観点では有効な面もあると思います。また、夜間開催についても、以前に個人的に考えたことはありますが、これまで議論したことはありません。開催の意義があれば、一つの選択肢として検討する余地はあるのではないかと感じています。

教 育 長 統一日設定のメリットや、半日開催に関する考え方など、多くのご意見をいただきました。これらを整理した上で、2月に予定しております教頭研修会において、確実に情報提供を行っていきたいと考えております。

教 育 長 それでは次に、3点まとめてご意見をいただきたいと思います。まず、学校訪問における授業参観の方法について、次に、教育委員からご指摘いただいた学校側の対応に関するフィードバックについて、そして音読活動についての3点について、学校教育課から補足説明をお願いします。「授業参観の時間確保」から始めたいと思います。

学校教育課長 (説明)

教 育 長 11校のうち、2コースに分かれて実施した学校は何校ありますか。また、2時間実施した学校は何校ありますか。

学校教育課長 確認いたしますので、しばらく時間をいただければと思います。

教 育 長 後ほど確認してください。次の2点目に移ります。委員の皆様からご指摘いただいた事項に対する対応状況について、どのようにフィードバックを行ったのか、説明をお願いします。

学校教育課長 (説明)

教 育 長 先週実施した2校を除き、それ以前に実施した9校については、すべ

ての学校から改善案等が提出されていますか。それらについては、すべて教育委員の皆様にはフィードバックしてください。資料として準備をお願いします。

学校教育課長 分かりました。

教 育 長 3点目です。音読活動について、説明をお願いします。

学校教育課長 (説明)

教 育 長 それでは、授業参観と校長による学校経営説明等について、お気づきの点で結構ですでお出してください。

土器手委員 学校訪問で、校長・教頭先生から説明を受ける際に、時折、声が小さくて聞き取りづらかったり、配付資料のどこを見ればよいのか分かりにくかったりすることがあります。また、パワーポイントを使用される場合、かえって分かりづらくなってしまうこともあります。一生懸命準備されているのですが、見えにくかったりすることもあります。説明については、順序立てて、要点をはっきりと伝えていただくとありがたいと感じることがあります。

また、授業参観の時間についてですが、参観時間が短いため、本当はしっかり評価したいのですが、判断がつかない場合には、チェックを入れず空欄にしてしまうこともあります。断片的にしか授業を見ることができない中でチェックを行うことが、かえって教員を傷つけてしまうのではないかと感じることもあります。評価表については、A B C Dの区分が設けられているものの、評価基準の解釈が難しく、A評価としてよいのか判断に迷うことがあります。また、どこにチェックを入れるべきか悩む場面が少なくありません。結果として空欄となってしまうことがあります。こうした状況から、評価表について、レクチャーの機会を設けていただくとありがたいと考えます。

教 育 長 例えば、一つの学級を10分とか15分程度参観する形とすれば、学級数にもよりますが、2コースとか、あるいは4学級を自由に参観することも可能となり、その方が評価もしやすくなります。また、各委員が担当する学級を分担することで、全委員が必ずどこかの授業を見るという形も取れるのではないかと考えています。

また、土器手委員からご指摘のあったように、評価表の改善が求められています。こうした点について、さらに良いアイデアがあれば、ご意見をいただければと思います。

常盤委員 関連しての意見になりますが、授業の評価はなかなか難しいものだと感じています。例えば、5分程度の参観時間の中でも、ある程度感じ取れる部分ではありますが、5分間では判断が難しいと感じる場面が多くあります。評価についても、あくまで5分間の参観に基づく評価であるという前提で行っているものであり、必ずしもそれが正確な評価であるとは言い切れないという意識を持ちながらチェックをしています。

また、つい先日の授業参観の例ですが、英語の授業において、ちょうどこれから児童・生徒の発表に入るという場面で、次の学級へ移動する時間となってしまいました。先ほど教育長からご提案のあったように、例えば、「この時間内にこの4学級を参観してください」といった形であれば、その中で授業がどのように展開していくのかを、もう少し落ち着いて見ることはできないかと感じています。特に英語の授業については、子供たちの発表の様子を聞きたかったと思うところでした。

教育長 私は、一つの案として出しましたので授業参観の在り方については、学校教育課において、検討をお願いしたいと思います。

軍神委員 正直なところ、この評価は、大きな負担を感じています。現在の評価項目に基づいて評価すること自体が、なかなか難しいのではないかと感じる場合があります。子供自身の動きや主体的な動きなど子供に着目した評価と、教員の指導側の動きに着目した評価とを、同時に一つの評価表の中で行おうとすると、どうしても判断が難しくなってしまいます。

また、校長や教頭が「主体的な授業」とよく使いますが、では具体的にどのような授業が主体的な授業なのか、校長や教頭が、明確なイメージとして描けているのだろうかと感じることもあります。学校経営の説明の中では、それが本当に校長の中で具体的に描かれ、教員に伝

わり、そして実際の学級で行われているのかどうかと想ったりします。このような状況の中で、私自身が行っている評価が果たして適切なのかという不安もあります。評価表の下段にコメントとして書き添えるようにはしていますが、それでも難しさを実感しているところです。個人的には、もっと子供たちの声を直接聞きたいという思いがあります。発表の場面に限らず、子供たちが説明したり、考えを表現したりするような行為が、もっと学校の中から伝わってくるとよいのではないかと感じています。

教 育 長 授業参観の方法と評価の在り方について、もう少し簡潔で分かりやすい形にしていく必要があるのではないかと感じました。また、学校教育課と教育委員の皆様との双方の認識をうまくすり合わせていければと考えています。さらに、土器手委員からもご指摘がありましたが、今後、改善を進めていく中で、来年度につきましては、特に第1回目の学校訪問が始まる4月の段階で、評価表について、レクチャーの機会を設けるようお願いしたいと思います。

枇 杷 委 員 学校を訪問させていただく中で、教員が大変努力されていることは強く感じています。その上で、校内の掲示物などに、教員のコメントがもう少しあればよいのではと思いました。もっとも、教員の働き方改革との関係もあり、その点については悩ましく感じる場所もあります。ただ、スタンプなどでも構いませんので、何らかの形であるとうよいのではないかと感じました。また、授業参観時の評価方法についてですが、土器手委員からもご指摘があったように、現在の評価表は項目が多く、書きにくさを感じる場面があります。質問形式がよりシンプルであれば、「こうだったな」と記入しやすくなるのではないかと思います。評価項目の言葉をもう少し整理し、シンプルにすることで、評価がしやすくなるのではないかと感じました。

教 育 長 いただいたご意見につきましては、改善のポイントとして、今後の検討の参考にさせていただきたいと思います。時間がやや超過しておりますが、資料裏面の「模範となる校長が自身の経営方針や取組を発表する機会を設けられたい」という点につきまして、令和7年度の実績

について紹介してください。

学校教育課長

(説明)

教 育 長

それでは、続きまして、社会教育課及び図書館も含めまして、お気づきの点がございましたらお聞かせください。

土器手委員

先月のこしき幼稚園の開園延期の説明会について、少し質問をさせていただきます。地域の方々が自分たちの関心事として受け止め、参加されている様子がかがえたと感じました。一方で、甑島全体で見た場合、今後について住民の方々が抱えている不安感、例えば、学校がさらに減っていくのではないかとといった思いがあるのではないかと感じています。実際、学校に対する地域の期待も大きいと感じています。そうした中で、「甑島の学校は今後どうなっていくのだろうか」といった声や意見が、地域から出てきているのかどうかについてお聞かせください。

甑島教育課長

現在のところ、全体としては落ち着いてきているものと認識しております。児童・生徒数が少ないなら、少ないなりに、教育の在り方や地域の在り方をどうしていくかについて、甑島の皆さんがそれぞれ考えておられる状況ではないかと感じています。

土器手委員

二十歳の集いの際に上映された映像を拝見し、里中の様子だったかと思いますが、女子が4、5人で、男子が1人という中で、特に男子にとっては、なかなか大変な面もあるのではないかと感じました。私たちの世代では、自然と男子と女子に分かれるようなことも多かったのですが、甑島のように女子が複数いて男子が1人という状況の中では、人数が少ないからこそ生まれるコミュニケーションの在り方があるのだろうと感じながら、映像を拝見していました。

甑島教育課長

横のつながり、縦のつながりともに、比較的うまく関係は築けていると認識しています。上の学年に兄や姉がいることもあり、学校全体として一体感はあるのではないかと感じています。

軍 神 委 員

甑ミュージアムについてですが、例えば上甑、里などから見学に行くといった取組は行われているのでしょうか。

甑島教育課長

甑ミュージアムの見学につきましては、各学校の遠足等の計画の中で



随時組み込まれています。

軍神委員 島内のほとんどの子供が知っていると言えるくらいになるとよいのではないかと思います。下甕の子供たちだけでなく。さらに言えば、本土側から甕島に行く機会もありますが、そうした際にも、時間的な制約はあると思いますが、甕ミュージアムを見学できる機会があればよいのではないかと感じています。

甕島教育課長 甕アイランドウォッチング事業等にも甕ミュージアムを活用していただいております。先日報道もありましたとおり、来館者数1万人を達成しております。

教育長 各学校では、4年生が甕島を訪問していますが、その際、甕ミュージアムでは、どの程度の時間を確保できているのでしょうか。例えば1時間程度は滞在できていますか。

甕島教育課長 学校によっては、甕島内を幅広く見学したい学校もあれば、他の体験学習を重視する学校もあります。そのため、甕ミュージアムでの滞在時間については、学校ごとの希望を踏まえ、ミュージアムの担当者が調整を行い、学芸員の配置や体制を含めて対応しています。

教育長 つまり、学校ごとの時間設定に応じて、調整できているということですね。例えば、可愛小や平佐西小では、今年度は何分程度の見学時間だったのか、把握していますか。

学校教育課長 申し訳ありません。具体的な時間までは把握しておりません。

学校教育課指導担当課長 具体的な時間や見学コースについては、詳細まで把握しておりませんが、学校によっては、特に上甕を回りたい、あるいは下甕まで行きたいといった選択ができるようになっていきます。その中でも、ほとんどの学校が鹿島の甕ミュージアムを見学コースに組み込んでいると認識しており、多くの学校が甕ミュージアムを訪問している状況です。

教育長 各学校から提出されている計画表は届いていると思いますので、見学時間等についてもチェックしてみてください。それでは、少し時間が長くなりましたが、これをもちまして、終了したいと思います。

教育長 いくつか宿題がありますので、本日中に対応可能な部分については報告をお願いいたします。

なお、土器手委員からご質問のありました4点につきましては、諸般報告の中でお答えするという事でよろしいでしょうか。それでは、諸般報告に入ります。

【諸般報告】

教 育 長 それでは、諸般報告について、教育総務課から説明をお願いします。

教育総務課長 (資料1 ページについて説明)

教 育 長 質問はありませんか。

(なしの声あり)

教 育 長 学校教育課の説明をお願いします。先ほどの4点の質問についての回答もあわせてお願いします。

学校教育課長 (資料2 ページについて説明)

教 育 長 スマイルルームの登録人数は、何人ですか。

学校教育課長 45人です。

教 育 長 小学校・中学校を合わせて登録者が45人おり、そのうち、毎回15人から16人程度が通室しているということですね。併せて、三つの中学校に設置している校内教育支援センターについては、それぞれ平均して何人程度が通室しているのか、学校ごとに分かりますか。

学校教育課長 申し訳ありません。把握できておりません。

教 育 長 そのようなデータは、非常に重要ですので、ぜひ、学校ごとの通室状況が分かる表を一つ追加してください。

学校教育課長 分かりました。

教 育 長 次に、学力・学習状況調査の結果について説明をお願いします。

学校教育課長 (説明)

教 育 長 実施された鹿児島学力・学習状況調査につきましては、現時点では採点途中ということでもよろしいでしょうか。

学校教育課長 現在、採点作業の途中です。

教 育 長 まだ全ての結果が出そろっていないということですね。それでは、ご質問のありました4点についての回答について、ご意見等がございましたらお願いします。

土器手委員 まず、いじめに関してですが、件数自体は多いと感じました。ただ、少しでも重大な事案に発展しないよう、教員が早い段階で丁寧に対応していただければと思っています。次に、スマイルルームについてですが、15人から16人程度が利用しているとのことでした。できれば、スマイルルームをきっかけとして、少しずつ「また学校に行ってみたい」と思えるような環境づくりにつなげていただければと思います。もちろん、無理をさせないことが前提です。また、学力調査についてですが、何が課題なのかをしっかりと分析し、教員の意識を高めるとともに、子供たち自身が学習に前向きになれるような働きかけを行っていただきたいと思います。さらに、家庭学習についても、保護者とその重要性を理解し、協力していただけるような環境づくりを進めていただければと思います。

軍神委員 鹿児島学力・学習状況調査の結果は、2月末に公表される予定とのことですが、どのような形で、また、誰がどのように公表するのでしょうか。

学校教育課長 県教育委員会が2月末に公表する予定としておりますが、現時点では、具体的な公表方法については、まだ示されておられません。

軍神委員 本市内の小・中学校の実態について、市教育委員会が把握できるのは、いつ頃になるのでしょうか。

学校教育課長 市教育委員会が把握できる時期につきましては、現時点では明確に申し上げることができない状況です。結果が判明次第、速やかに対応していきたいと考えております。

軍神委員 市教育委員会では、学校ごとの状況が分かることになると思います。その段階で構いませんので、教育委員にも各学校の実態を情報提供していただければありがたいと思います。

学校教育課長 分かりました。

教育長 結果が分かり次第、速やかに情報提供をしたいと思います。昨年度までの経緯についても確認が必要だと考えます。例えば、12月の市広報紙では、全国学力・学習状況調査の結果が見開きで公表されました。昨年度は同様の形で公表したのか、あるいはホームページで公表した

のか、その点についてはどうですか。

学校教育課長 結果につきましては、市のホームページで公開しているところです。  
教 育 長 他に質問はありませんか。

(なしの声あり)

教 育 長 社会教育課の説明をお願いします。

社会教育課長 (資料3ページについて説明)

教 育 長 質問はありませんか。

常 盤 委 員 二十歳の集いの参加者数が例年より多かったように感じました。人数はこれまでと比べて多かったのでしょうか。

教 育 長 参加率については、把握していますか。

社会教育課長 今年は、住民票を有する対象者が829人おり、そのうち630人が出席し、参加率は約75.9%です。昨年度は対象者が953人で、参加者は636人、参加率は66.7%でした。そのため、参加率が約10%程度向上しており、参加状況としては増加したと考えています。

常 盤 委 員 人それぞれ、20歳に至るまでの人生は本当に様々だと思います。そうした方々が、市の行事である「二十歳の集い」という場に集うということ、そして市としてそのような場を設け、案内してくださっていることは、本当に意義のあることだと感じました。

軍 神 委 員 二十歳の集いは、全体として厳粛な雰囲気の中で式典が進められていたように感じました。

教 育 長 会場の周辺には来ていたものの、会場内には入らなかった参加対象者はいましたか。

社会教育課長 そのような方はいなかったと認識しております。一方で、保護者は、3階に部屋を準備しておりましたが、入り切らない状況が生じたため、隣接する会議室のモニター室を活用してご覧いただく形にしました。

教 育 長 実行委員会も6回開催され、自分たちの手で作り上げた式典であるという印象を受けました。

教 育 長 他に質問はありませんか。

(なしの声あり)

教 育 長 少年自然の家の説明をお願いします。  
少年自然の家所長 (資料6 ページについて説明)

教 育 長 質問はありませんか。

教 育 長 他に質問はありませんか。  
(なしの声あり)

教 育 長 中央図書館の説明をお願いします。  
中央図書館長 (資料7 ページについて説明)

教 育 長 質問はありませんか。

教 育 長 他に質問はありませんか。  
(なしの声あり)

教 育 長 甌島教育課の説明をお願いします。  
甌島教育課長 (資料11 ページについて説明)

教 育 長 鹿島小の令和8年度における学年ごとの児童数についてですが、現時  
点で把握できていますか。

甌島教育課長 令和7年度の全校児童数は、21人となっています。

学校教育課長 現段階の予定を申し上げます。小学新1年生は0、2年生が2人、3  
年生が2人、4年生が3人、5年生が4人、6年生は5人と特別支援  
学校1人を入れて6人、合計17人の予定でございます。

教 育 長 他に質問はありませんか。  
(なしの声あり)

教 育 長 以上で諸般報告を終わります。

**【その他】**

教 育 長 次に令和8年2月行事予定について、教育総務課から順に説明をして  
ください。

教育総務課長 説 明  
(以後、順次各課からの報告)

教 育 長 行事予定について、ご質問はありませんか。

土器手委員 川内中央中の職場体験は、実施期間は3日間とのことでしたが、何組  
かあるのでしょうか。

中央図書館長 参加したのは2年生の生徒2人で、実施期間は3日間です。

教 育 長 他に質問はありませんか。

(なしの声あり)

教 育 長 それでは、「イ その他」に入ります。事務局から何かありますか。

教 育 長 質問はありませんか。

(なしの声あり)

教 育 長 教育委員の皆様から何かございますか。

(なしの声あり)

### 【閉 会】

教 育 長 以上で、全ての審議が終了しました。これで、令和8年第1回薩摩川内市教育委員会定例会を閉会いたします。ありがとうございました。

閉会時刻 15時25分

教 育 長

教 育 委 員